

地震調査研究推進本部政策委員会調査観測計画部会
第2回海溝型地震を対象とした重点的調査観測手法検討専門委員会
議事要旨

1. 日時 平成16年3月8日(月) 13時30分~16時00分

2. 場所 経済産業省別館10階 1020号会議室
東京都千代田区霞が関1-3-1

3. 議題

- 1) 海溝型地震を対象とした重点的調査観測手法の検討について
- 2) その他

4. 配付資料

- 資料 計海2-(1) 第1回海溝型地震を対象とした重点的調査観測手法検討専門委員会議事要旨(案)
- 資料 計海2-(2) 日本海溝・千島海溝周辺で発生する海溝型地震を対象とした重点的調査観測手法の検討 - これまでの議論の概要 -
- 資料 計海2-(3) 日本海溝・千島海溝周辺で発生する海溝型地震について - 何がわかっていて、我々は何をなすべきか -
(松澤東京大学助教授資料)
- 資料 計海2-(4) 十勝沖地震の意義 千島海溝を対象とした地震観測の現状と今後の提案
(笠原委員資料)
- 資料 計海2-(5) 地震観測の現状と今後の調査観測強化に向けての提案
(気象庁)
- 資料 計海2-(6) 地震観測及び強震観測の現状と今後の調査観測の強化に向けての提案
(防災科学技術研究所)
- 資料 計海2-(7) ケーブル式海底地震観測システムによる観測及び地殻構造調査の現状と今後の調査観測の強化に向けての提案
(海洋科学技術センター)

5. 出席者

主査	長谷川 昭	東北大学大学院理学研究科教授
委員	岡村 行信	独立行政法人産業技術総合研究所海洋資源環境研究部門 海洋地質研究グループ長
	小原 一成	独立行政法人防災科学技術研究所 防災研究情報センター高感度地震観測管理室長
	笠原 稔	北海道大学大学院理学研究科教授
	金沢 敏彦	東京大学地震研究所教授
	金田 義行	海洋科学技術センター 固体地球統合フロンティア研究システム プレート挙動解析研究領域長
	上垣内 修	気象庁地震火山部地震予知情報課評価解析官 代理 中村浩二 気象庁地震火山部地震予知情報課調査官
	都司 嘉宣	東京大学地震研究所助教授
	平田 直	東京大学地震研究所教授

	藤 田 雅 之	海上保安庁海洋情報部海洋調査課 航法測地室主任衛星測地調査官 代理 水 道夫 海上保安庁海洋情報部 技術・国際課技術・国際官
	藤 本 博 巳 本 蔵 義 守 村 上 亮	東北大学大学院理学研究科教授 東京工業大学大学院理工学研究科教授 国土地理院地理地殻活動研究センター 地理地殻活動総括研究官
(専門家)	山 中 浩 明	東京工業大学大学院総合理工学研究科助教授
オブザーバー	松澤 暢	東京大学地震研究所助教授
	平 祐太郎	内閣府(防災担当)付 参事官(地震・火山対策担当)付主査
	小寺 透	海洋科学技術センター企画部企画課部員
	中林 賢司	経済産業省産業技術環境局知的基盤課課長補佐
	愛場 政広	国土地理院測地観測センター衛星測地課計画係長
	中澤 博志	気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長
事務局	磯谷 桂介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
	前田 憲二	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官
	大城 功	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震火山専門官
	岡本 拓也	文部科学省研究開発局地震・防災研究課課長補佐
	明田川 保	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	青木 重樹	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	二瓶 稔之	文部科学省研究開発局地震・防災研究課
	坂内 信夫	文部科学省研究開発局地震・防災研究課
	梅田 裕介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課
	田村 俊子	文部科学省研究開発局地震・防災研究課

6. 議事要旨

- ・ 前回議事要旨(案)について意見がある場合は、後日、事務局に連絡することとなった。
- ・ 事務局から、前回のフリーディスカッションの概要について説明があった。
- ・ 東京大学の松澤助教授から、日本海溝で発生する海溝型地震について、その最新の研究の成果などについて、報告があった。
- ・ 笠原委員から、昨年発生した十勝沖地震の意義や千島海溝を対象とした地震観測の現状と今後の提案について、報告があった。
- ・ 気象庁から、地震観測の現状と今後の調査観測の強化に向けての提案について、報告があった。
- ・ 防災科学技術研究所から、地震観測及び強震観測の現状と今後の調査観測の強化に向けての提案について、報告があった。
- ・ 海洋科学技術センターから、ケーブル式海底地震観測システムによる観測及び地殻構造調査の現状と今後の調査観測の強化に向けての提案について、報告があった。